管機連Ｄａｉｌｙ Ｎｅｗｓ

2026年11月10日（火）

≪　今日の主なニュース　≫

～　日経ニュースなどを中心

◆9月の景気動向指数、2カ月ぶり上昇　熊本地震後の生産回復が寄与

・内閣府が発表した9月の景気動向指数（速報値）は足元の経済状況を示す一致指数（2020年=100）が119.5と前月か
0.7ポイント上がり、2カ月ぶりに上昇。指数の動きを基に機械的に決まる基調判断は「改善を示している」と据え置き
工業生産指数や鉱工業用生産財出荷指数、耐久消費財出荷指数が伸びた。

◆10月末の外貨準備高、1兆1791億ドル　前月末比ほぼ横ばい

・財務省が発表した10月末の外貨準備高は9月末比0.06%増の1兆1791億ドル（約186兆円）。6カ月ぶりに増加。米国
長期金利が下がり、保有する米国債の時価評価額が上がった。外貨準備高のうち外国債券などの証券は8345億ドルと
128億ドル増。財務省によると、保有債券の多くを占める米国10年債利回りは4.930%と9月末の5.287%から下がった

◆花粉飛散、27年春は西高東低　日照不足影響で東京は平年の半分

・2027年春の花粉飛散量は、平年より東日本が少なく西日本が多めとなる見通し。9月の記録的な日照不足が花粉の形
成量に影響し、東京都は半分程度にとどまるとみられる。ただ毎年花粉症に悩まされている人は症状が続くといい、
家は例年通りの対策を勧める。花粉飛散量は東北で平年（17～26年の平均値）より4割、関東では3割程度下回る。

≪　業界ニュース　≫

～　日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋　～

◆道路の無電柱化「5年で1000キロ」めざす　国交省、緊急道優先で整備

・道路から電柱をなくす「無電柱化」に向け、国は災害時の救援ルート上を優先的に整備する計画を進めている。20
度までの5年間で1000キロ分の地中化を目指す。ただ都市構造や予算上の制約もあり、難航も予想される。官民で連携
しつつコストをどう抑えられるかが課題となる。

◆NTT、センサーとAIで水道管の漏水位置を特定　熟練者並みのスキル

・NTTは光ファイバーのセンシング技術と人工知能（AI）の活用により、給水管の漏水位置を特定。福岡市で実証し、
誤差75センチメートル以内・正解率88%という熟練者並みの精度に。全国の水道事業者や自治体での導入を目指す。
門の装置を道路に敷き、地下に埋設された給水管の真上から漏水に伴う微弱な振動を計測してAIが解析。

◆住設市場、リフォーム向けが堅調　40年度2.3兆円規模に

・富士経済が公表した「住宅設備の国内市場調査」結果によると、2026年度の住宅設備の国内市場は1兆8377億円に
る見込み。主要住宅設備メーカーが注力するリフォーム向けは中・高級品の需要が堅調で1兆1503億円に達する見通し
市場の4割弱を占める新築向けは、着工数の低迷により6835億円にとどまるとみられる。

≪　注目商品　≫



■マックス、エアコンプレッサ発売50周年記念で数量限定カラー

・エアコンプレッサの発売50周年を記念し数量限定カラーのスーパーエア・コンプレッサ
『AK-HL1310E2』『AK-HH1310E2』を11月19日から販売。カラーは、深く鮮やかに輝く「デ
ィープシャインパープル」。ラメやガラス粒子を配合した塗装で光が当たると色合いが変化。



■永大産業、天板・パネル厚10mmのキッチン

・ワークトップとサイドパネルの厚みを10mmまで薄くしたノイズレスデザインの新キッチン。ワー
クトップはステンレス、メラミン、セラミック、人造石の4種類をラインナップ。ワークトップと扉
柄で統一できる「キューブスタイル」に対応し、より一体感のあるデザインを実現。



■アルメタックス、6色展開の円柱型スロップシンク

・直径約400ミリの円柱型で、角を極力なくした丸みのあるフォルムを採用したスロップシンク。
素材には陶器に比べ柔らかく、硬いものをぶつけた際のひび割れや破損が起こりにくい人工
大理石を使用。給排水などの配管部品を本体内部に収める設計、床給水・排水にも対応。